

かもめだより

2014年 第15号

10月30日

9月定例会号

沼津市議会

発行元：市民クラブ

発行責任者：二村 祥一

9月定例会が開催されました!

第14回（9月）定例会が9月12日（金）から10月15日（水）までの34日間の会期で開催されましたので、以下、要旨をご報告いたします。

一般質問に、二村議員と梶議員が立ちました!!

今回の定例会は一般質問の事前通告者が20議員となり、3日間の日程をかけて一般質問が行われました。市民クラブからは、二村議員と梶議員が一般質問（個人質問）に立ちました。

二村議員質問要旨



1. 沼津版学力調査実施の理由について
2. 全国学力・学習状況調査自校採点について
3. 沼津市内小中学校の教頭職人事について
4. 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正について
 - (1) 新しい教育委員会制度の認識について
 - (2) 教育委員の任命について

Q: 全国学力・学習状況調査の自校採点によって課題が明らかになっても、既にスタートしている年度の途中からでは事業改善に取り組めないのでないか。

A: 自校傾向や課題等を把握し、学習の目当ての提示や授業の終わりに振り替えの時間を設定するなど、早期に事業改善に取り組んでいる。

梶議員質問要旨

1. ぬまづの森整備事業に対する評価と今後の事業展開について

- (1) 事業に対する評価について
- (2) 今後の事業展開と課題について
 - ① 今後の事業展開についての考え方
 - ② 防犯対策等の必要性について

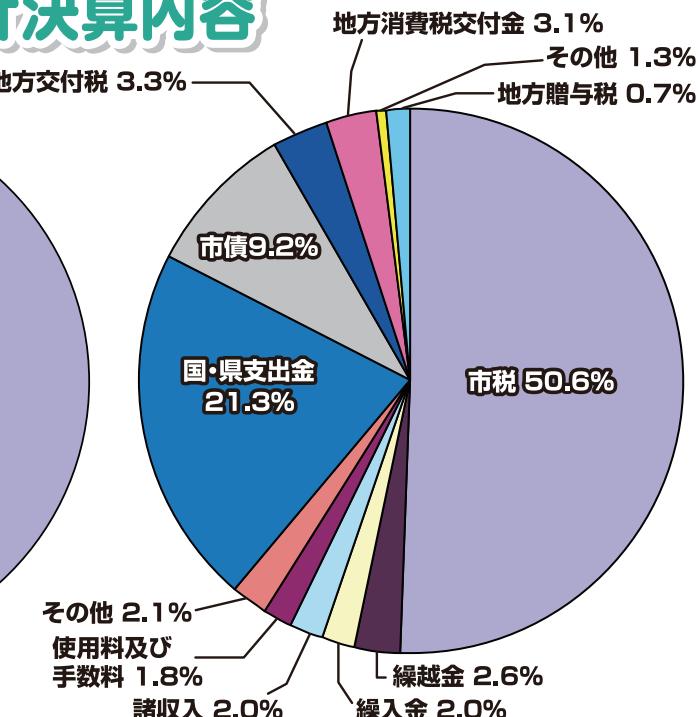
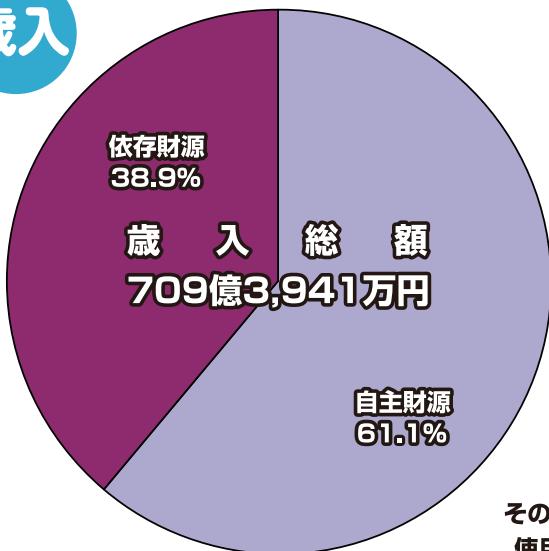


Q: ぬまづの森整備事業において、「視認性・領域性の確保」の観点で、適正なメンテナンスを行うべきと考えるが、どの様に考えるか伺いたい。

A: 植樹から4年経過した植樹地は見上げるような大きさに生育し、森づくりの意義から喜ばしい反面、視界が悪くなるという指摘があり、地元の自治会からも防犯対策について求められている。今後、宮脇先生の御指導を踏まえ、地元自治会あるいは学校など関係機関との協議を図りながら、ぬまづの森本来の機能を損なわないよう、その対策と管理を検討したい。

平成25年度一般会計決算内容

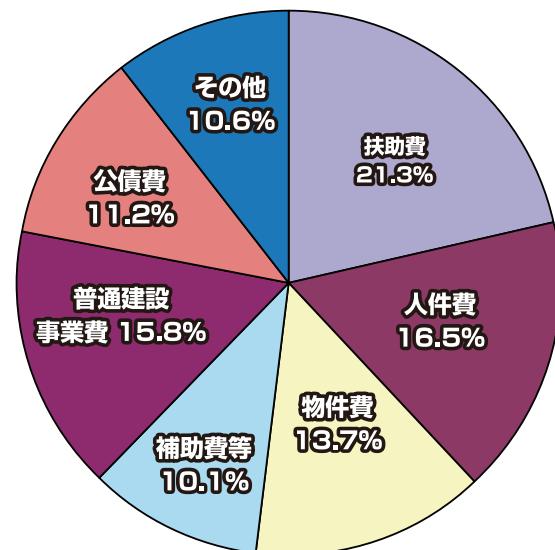
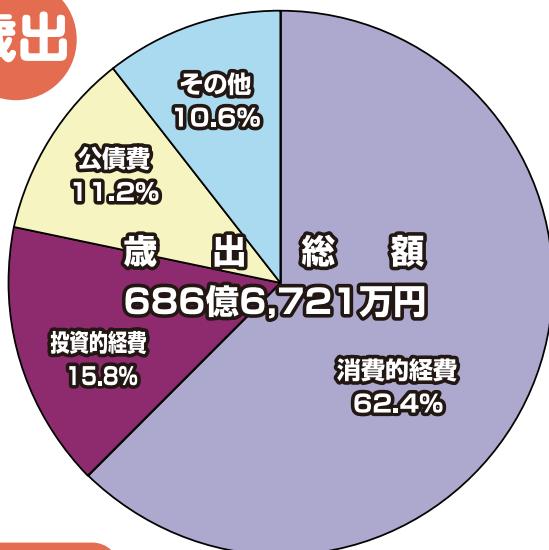
歳入



歳入

歳入全体は、前年度に比べ△3.7%となった。自主財源は、繰入金が△38.4%、諸収入が△23.9%等により、全体では△2.3%となった。一方、依存財源では、国庫支出金が△5.4%、市債が△15.8%等により、全体では△5.8%となった。

歳出



歳出

歳出全体は、昨年度に比べ△4.3%となった。消費的経費は、人件費が△5.3%、物件費が△2.5%等により、全体では△1.7%となった。一方、投資的経費は、普通建設事業等によって△23.9%、公債費は△1.2%となった。

一般会計の予算と決算

予算は、当初予算677億円で前年度比△6.3%であったが、補正31億539万9,000円を追加し、継続費遡次繰越金額4億6,123万3,000円及び繰越明許費繰越額13億7,510万5,000円を合わせた最終予算額は726億2,374万7,000円となった。

決算は、歳入総額709億3,941万7,856円、歳出総額686億6,721万6,164円となり、このうち、継続費及び繰越明許費の繰越財源9,875万2,000円を差し引いた実質収支額は、21億7,344万9,692円（黒字）となった。

平成25年度特別会計&企業会計決算内容

※カッコ内の数値は昨年度比

土地取得事業特別会計

歳 入 1,813万円 (95.6%増)

歳 出 1,813万円 (95.6%増)

公用・公共の土地等のために取得する必要のある土地を、事業の円滑化のため、あらかじめ取得するための会計として、基金運用収入等27万円を基金に積み立てた。



国民健康保険事業特別会計

歳 入 245億9,044万円(2.5%増)

歳 出 236億3,425万円(4.9%増)

主な保険給付は、療養給付費136億2,765万、高額療養費17億4,616万円、出産育児一時金1億396万円等となった。剩余金の一部3億8,705万円を基金に積み立てる事とした。



介護保険事業特別会計

歳 入 140億5,847万円 (4.7%増)

歳 出 137億5,787万円 (4.1%増)

高齢者人口増加に伴い、第1号被保険者の増加(55,160人)が続いている。要介護等認定者も増加(8,064人)している。介護保険サービス利用者数も増加で月平均7,376人であった。



簡易水道事業特別会計

歳 入 404万円 (25.6%減)

歳 出 293万円 (38.3%減)

井田地区の水質管理および水源監視を行い、給水人口75人(年間総配水量14,662m³)に対して、安全な水の安定供給を遂行した。



後期高齢者医療事業特別会計

歳 入 19億9,019万円 (1.4%増)

歳 出 19億8,444万円 (1.6%増)

被保険者数は、75歳以上25,478人および65歳～74歳の障害があると認定された418人の合計25,896人であった。また、健康診査は8,094人が受診した。



病院事業会計

総収益 111億1,508万円 (5.1%増)

総費用 110億1,534万円 (1.9%減)

入院患者は122,886人(4,065人増)、外来患者は188,607人(243人減)だった。沼津市立病院改革プラン等により、純利益が9,974万円で黒字決算となった。累積欠損金52億4,022万円となった。



水道事業会計

総収益 31億1,399万円 (1.4%減)

総費用 23億9,613万円 (0.3%減)

給水戸数は102,024戸(347戸減)、給水人口は234,911人(2,194人減)となった。人口減少、市民の節水意識、節水機器の普及により給水量が減少した。

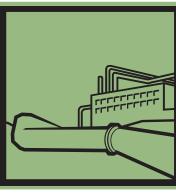


下水道事業会計

総収益 36億3,794万円 (2.7%減)

総費用 39億9,372万円 (0.8%減)

下水道普及率は56.7%(1.0%増)と年々増加しているが、有収水量の減少等により厳しい経営環境が続くが、平成26年4月から料金改定があり平成26年度は赤字解消が期待されている。



本会議での話題っ!!

報告2件、人事案件3件、一般議案5件、決算認定議案9件、条例議案5件、補正予算議案4件、請願1件、議員発議3件の計32件を承認、認定、採決、可決しました。

報 告

- ★専決処分の報告（交通事故損害賠償額の決定）
- ★継続費精算報告書の報告（平成25年度沼津市一般会計）

承 認

- ★専決処分の報告及びその承認（控訴の提起）【総務経済委員会】

人 事

- ★教育委員会委員任命の同意
- ★公平委員会委員選任の同意
- ★固定資産評価審査委員会委員選任の同意



今年12月供用開始予定の今沢地区センター

決 算

- ★平成25年度沼津市一般会計歳入歳出決算の認定【一般会計予算決算委員会】
- ★平成25年度沼津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定【特別会計企業会計予算決算委員会】
- ★平成25年度沼津市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定【特別会計企業会計予算決算委員会】
- ★平成25年度沼津市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定【特別会計企業会計予算決算委員会】
- ★平成25年度沼津市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定【特別会計企業会計予算決算委員会】
- ★平成25年度沼津市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定【特別会計企業会計予算決算委員会】
- ★平成25年度沼津市病院事業会計決算の認定【特別会計企業会計予算決算委員会】
- ★平成25年度沼津市水道事業会計決算の認定【特別会計企業会計予算決算委員会】
- ★平成25年度沼津市下水道事業会計決算の認定【特別会計企業会計予算決算委員会】

一 般

- ★損害賠償の額を定めること【建設水道委員会】
- ★平成25年度沼津市水道事業会計未処分利益剰余金の処分【建設水道委員会】
- ★指定管理者の指定（地区センター）【総務経済委員会】

条 例

- ★沼津市戸田温泉施設条例の全部改正【総務経済委員会】
- ★沼津市ふるさと応援基金条例の制定【総務経済委員会】
- ★沼津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定【民生病院委員会】
- ★沼津市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定【民生病院委員会】
- ★沼津市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定【民生病院委員会】

予 算

- ★平成26年度沼津市一般会計補正予算（第2回）【一般会計予算決算委員会】
- ★平成26年度沼津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1回）【特別会計企業会計予算決算委員会】
- ★平成26年度沼津市介護保険事業特別会計補正予算（第1回）【特別会計企業会計予算決算委員会】
- ★平成26年度沼津市病院事業会計補正予算（第1回）【特別会計企業会計予算決算委員会】

契 約

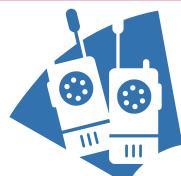
- ★工事請負契約の締結（駿東伊豆地区消防救急デジタル無線設備整備工事）【文教消防委員会】

請 願

- ★行政書士法違反書類の沼津市各機関への提出排除に関する請願【総務経済委員会】

発 議

- ★「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の延長に関する意見書
- ★「危険ドラッグ」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書
- ★軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書



※【カッコ】は付託委員会を示す以上